

お客様各位

『備前バスは平成 27 年 9 月末日をもって廃止いたします』

【乗合路線バス廃止に至る経緯】

弊社は 1971 年 5 月 民間バス会社 (宇野自動車㈱) の過疎路線廃止に伴う代替事業者として旧備前市、三石町、日生町、和気町、吉永町、佐伯町の皆様からの強い要請により、弊社創業者が乗合バスをお引き受けしたのが始まりです。

翌、1972 年 7 月、同和鉱業㈱片上鉄道事業所 片鉄片上-JR 和気駅間の乗合バス事業廃業により『片鉄バス』を譲受し片鉄線乗合バス、貸切バスの営業を開始。同時に市民公募により『備前バス』の愛称をいただきました。

更に 1993 年 4 月、両備バス㈱ 鶴海、佐山、JR 長船駅運行休止による緊急代替運行を開始。現在、瀬戸内市、備前市、赤磐市、赤穂市、和気町など 4 市 1 町で 10 路線 33 系統を 17 台のバスで運行を行なっています。

本年はバス事業開始、満 44 年を迎え備前市・片上鉄道沿線地域活性化対策協議会より補助団体指定を受け 22 年となります。指定の経緯は、1993 年 旅客の安全・定時運行確保する為に、運賃料金を 2 倍に改定申請した時、備前市より運賃据え置き、年 3,000 万円補助を受け運行を継続しました。以降、2005 年まで補助金 年 3,000 万円を収受。2006 年は路線拡大により年 5,760 万円に補助金増額。2006 年 12 月 1 日実施 備前市内 200 円均一運賃に伴い 2007 年より年 7,000 万円を収受。2014 年は消費税増税により年 7,200 万円の補助金を収受しています。

しかしながら、1971 年以降、人口流出・少子化により備前市内路線の乗車人数は、2007 年 28 万 6300 人から、2013 年では 14 万 1500 人に減少しています。

新備前市発足 10 年が経過

- ①現在、市内小学校は 13 校 平成 25 年度末の出生 223 人。
- ②平成 26 年 5 月 公共交通会議が法定協議会に法改正。
- ③平成 26 年 7 月 政府発表、60 年ぶりに『通学距離 4km 以内は、現行徒歩よりスクールバスに転換』の記事・放映。

以上により、

44 年間の運行経験では、スクールバス分離、小型車両による旅客の利便の増進に資する事が、最良の交通体系であると考えます。

よって、運賃は 3 倍値上げ又は運行費全額収受となれば、商道の原点である四方良しを顧みると、学童・生徒が 70%弱である路線バス継続は、各地区の交通運輸事業者の経営を圧迫する事となり、弊社中期経営計画による事業棚卸しを実施した結果、バス事業者としての役割は終了と決断し、この度、道路運送法第 38 条第 2 項の規定に基づき、平成 27 年 3 月 19 日廃止届出書を提出し、平成 27 年 9 月末日をもって、旅客運送事業全般を廃止する事と致しました。

尚、法定協議会である『公共交通会議』での市民の皆様方のご判断に、鋭意ご協力いたしますと共に、今後も社会の構成員として地域に貢献してまいります。

永年、備前バスをご愛顧いただきました皆様に衷心より御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

日生運輸㈱備前バス
取締役社長 伊賀資耕